

センターだより

財団法人 岐阜県教育文化財団  
文化財保護センター

# ぎふの 埋蔵文化財

# 49

2007.7.1

岐阜県の埋蔵文化財  
情報が満載



三枝城跡 東曲輪Ⅱ(中央)と東曲輪Ⅰ(左側)(東から)



三枝城跡 東曲輪Ⅱの川原石の集積



三枝城跡 堀切(南から)

特集

## 「飛驒の山城」

2007年度調査事業計画  
のぞいてみよう!今年の遺跡

考古学教室⑩

岐阜県の横穴式石室

あゆみ

センター年間行事計画ほか

センター掲示板

タイムスリップ探検隊参加者募集ほか

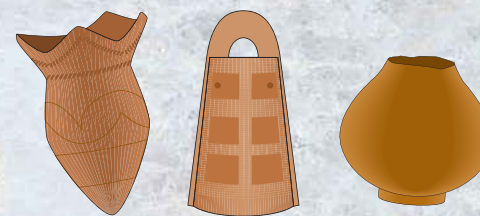
三枝城跡 調査区全体(主郭付近から)



# 2007年度 調査事業計画

のぞいてみよう!

# 今年の遺跡



## 1 荒尾南遺跡(大垣市荒尾町・松町)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

東西に約250m、南北約650mの広範囲に広がる遺跡です。平成18年度の発掘調査では、弥生時代中期から古墳時代前期の土器、金属製品(銅鏡・銅鐸片・銅鏃など)や木製品、石器などの出土遺物と、弥生時代中期の方形周溝墓35基、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居跡93軒、大溝1条と水田などの遺構が見つっています。



荒尾南遺跡調査風景(H18)奥は伊吹山

今年度の発掘調査は約10,000m<sup>2</sup>の範囲で行います。また、今年度の整理作業は、平成18年度発掘調査で出土した遺跡北部の遺構と遺物を中心に行います。この遺跡は弥生時代終わり頃に濃尾平野における一つの拠点となるような大集落を形成していたとも考えられるので、今年度の整理作業や発掘調査でその様子が分かっていくのではないかと期待しています。

事業者:国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 事業名:東海環状(養老JCT~大垣西IC)建設

## 2 広畑野口遺跡(各務原市蘇原青雲町)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

古代~近世にかけての長い時代にわたる複合遺跡で、遺跡内には8世紀後半創設と推定される野口廃寺が含まれます。今年度調査する部分に隣接する東側は、各務原市教育委員会により調査されており、奈良時代から平安時代の竪穴住居跡や中世の区画溝を発見したほか、「美濃」刻印須恵器や畿内系土師器が出土しています。また、発掘調査予定地で行った試掘確認調査では、竪穴住居跡や大型の土坑を確認し、古代の土師器と須恵器が多く出土しています。このことから、今年度の調査では古代の集落跡に関連する遺構や遺物が多く見つかりそうです。



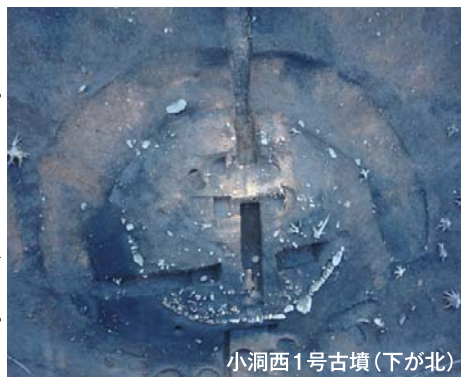
広畑野口遺跡調査風景

事業者:岐阜土木事務所 事業名:平成19年度公共緊急地方道路整備事業(都市計画道路岐阜鶴沼線)

## 3 小洞西1・2号古墳、小洞遺跡(関市広見字小洞)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

平成18年度調査で弥生時代末から古墳時代初期の方形周溝墓、古墳時代前期の方墳、古墳時代後期の円墳、中世の墓坑7基などが見つかりました。このことから、この場所は長い間お墓として利用されてきたことが伺えます。古墳時代後期の1号古墳は、北向きの斜面に立地する木製の棺を埋葬した古墳です。この時期の古墳は、南向きの斜面に立地し横穴式石室を持つものが多いため、大変珍しいものです。今年度の整理作業で、この地域の文化や習俗の一端が分かるかもしれません。



小洞西1号古墳(下が北)

事業者:岐阜農林事務所 事業名:県営ふるさと農道緊急整備事業(岐阜・関地区)

## 4 有坂薬師堂遺跡(郡上市八幡町有坂)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

郡上市八幡町の長良川右岸の河岸段丘上に位置し、周辺には、縄文時代の遺跡として、坪佐遺跡・ドゥマン遺跡・五町遺跡・勝更白山神社周辺遺跡があります。当遺跡については、平成16年度及び17年度に県教育委員会による試掘確認調査が行われました。土坑10基と竪穴状の遺構1基を確認しました。遺物は縄文土器や石鏃・磨石・敲石類などの石器が出土しました。出土遺物から縄文時代中期及び後期の集落遺跡が発見されることが予想されます。今年度は、455m<sup>2</sup>の本発掘調査と整理作業を行う予定です。



有坂薬師堂遺跡調査風景

事業者:郡上土木事務所 事業名:県単地方特定道路整備工事

## 5-1 ウバガ平遺跡(高山市上切町)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

平成12年度の試掘確認調査により、飛騨独自の弥生土器である横羽状文甕と縄文時代晩期の深鉢が出土しています。平成13年度には1,500m<sup>2</sup>の本発掘調査を実施し、古墳時代の竪穴住居跡4軒、縄文・古墳・平安時代の土坑を確認しました。また、遺物では縄文土器・土師器・石器などが出土しています。今年度は、平成13年度調査区の東側に隣接する3,560m<sup>2</sup>を調査します。縄文時代から平安時代にかけての遺構・遺物が発見されることが予想されます。



ウバガ平遺跡調査風景

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道建設事業

## 5-2 野内遺跡B地区(高山市上切町)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

見量山から連なる丘陵の南側斜面に立地する、縄文時代から近世まで続いた遺跡です。その中でも、奈良時代から平安時代にかけての遺構や遺物が多数発見され、特に焼土が集中して堆積している鉄鍛冶に關係する遺構は、精錬から鉄製品製造までの一貫した生産を行っていた可能性があり、注目されます。今後、整理を進めていく中で、その様子が分かっていくのではないかと期待しています。



鍛冶関連遺構の検出状況

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道建設事業

## 5-3 与島B地点遺跡・与島C地点遺跡(高山市上切町)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

与島B地点遺跡、与島C地点遺跡は、ウバガ平遺跡に隣接しています。

与島B地点遺跡では、平成12年度の試掘確認調査で、土師器高環や小型丸底壺片が出土し、その周辺を古墳時代(5世紀頃)の水辺の祭祀関連遺構と推定しています。また、同時代の溝状遺構も発見されています。

与島C地点遺跡は潤潤な土地で、平成15年度の試掘確認調査では、古代の須恵器や灰釉陶器等が出土しています。



与島C地点遺跡全景 奥は乗鞍岳

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道建設事業

## 5-4 野内遺跡C地区(高山市上切町) 三枝城跡(高山市上切町)

縄文 弥生 古墳  
古代 中世 近世

野内遺跡C地区は高山盆地北西部の山麓沿いに広がる大遺跡です。農具(ナスビ形鍬・ナスビ形四又鍬・えぶり)や祭祀具(馬形代)など、古墳時代から中世にかけての木製品が数多く出土しました。これらを詳しく調べることで、飛騨の木工技術の変遷を解明する手掛かりが得られるかもしれません。

三枝城跡は野内遺跡の背後にある戦国時代の山城跡です。高山盆地と古川盆地を結ぶ街道を監視できる位置に築られました。攻め寄る敵に投げつける「飛礮」として蓄えられた川原石などがみつっています。



野内遺跡C地区調査区全景(H18)(西から)

事業者:国土交通省中部地方整備局高山国道事務所 事業名:中部縦貫自動車道建設事業



## 日本の時代区分表

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世

近・現代

約12,000年前(100年を5mmで表現すると、縄文時代は約60cmになりまよ)

約2300年前

約1700年前

710年/794年

1192年 1333年 1573年

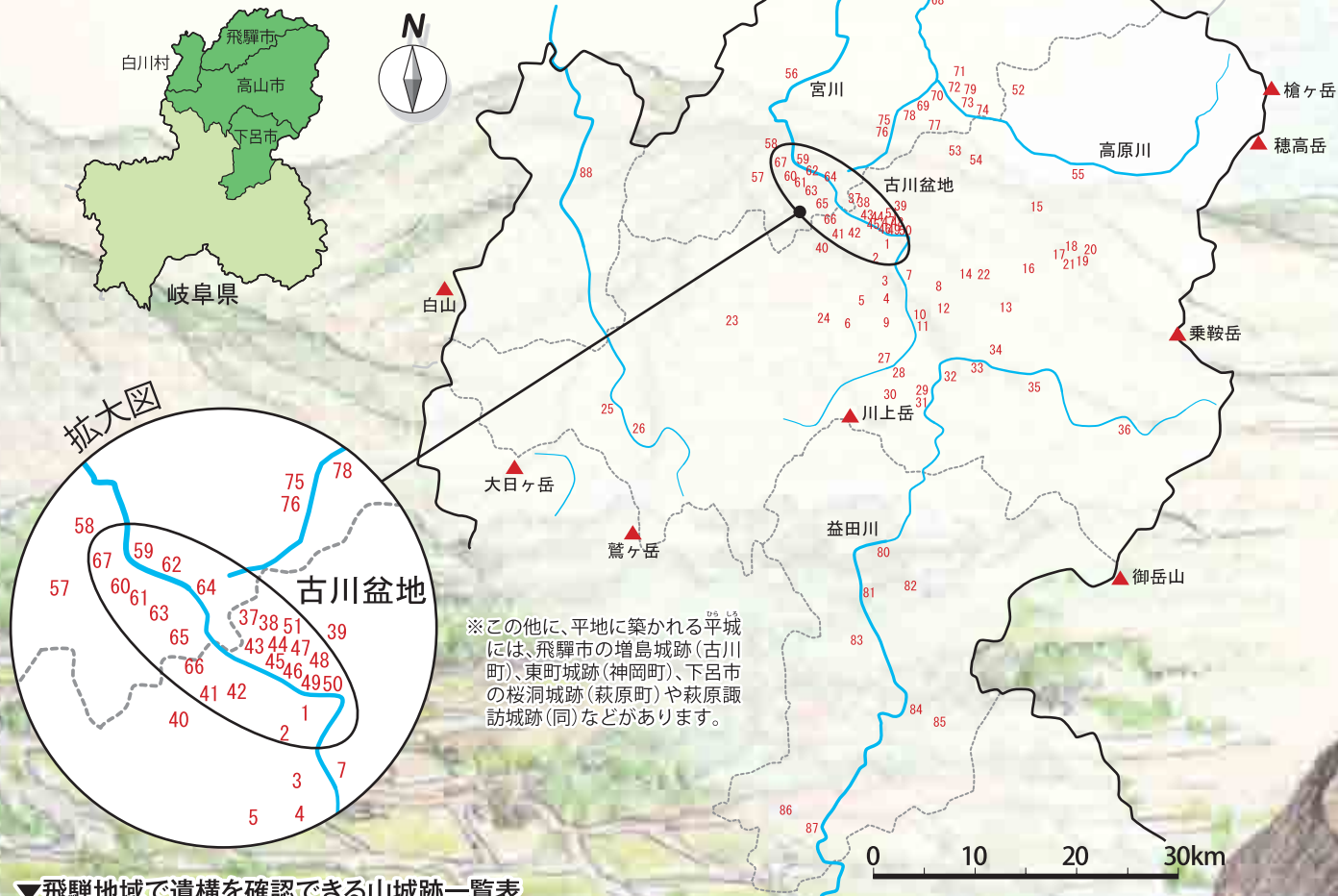
1603年 1868年

注)日本の旧石器時代の始まりについては、現在、再検討されています。よって、本紙では、新たな見解が発表されるまで、年代の記載を中止いたします。また、縄文時代の始まりについては、他に約13,000年前など、いくつかの説があります。弥生時代の始まりについても、最新鋭の説が発表されましたが、本表では、従来の説に従っています。



# 身近な山々に歴史が薫る～飛騨の山城～

## (1) 飛騨地域で遺構を確認できる山城の分布



### ▼飛騨地域で遺構を確認できる山城跡一覧表

高山市の山城跡			
1. 中切城跡	中切町	23. 岩田城跡	清見町夏殿
2. 三枝城跡	上切町	24. 牛首城跡	清見町牧ヶ洞
3. 冬頭城跡	冬頭町	25. 向牧戸(牧戸)城跡	荘川町牧戸
4. 中山城跡	下岡本町	26. 新淵城跡	荘川町新淵
5. 山田城跡	山田町	27. 山下城跡	一之宮町焼谷
6. 畑佐城跡	新宮町	28. 白越城跡	一之宮町白越
7. 三仏寺城跡	三佛寺町	29. 久々野城跡	久々野町久々野
8. 鍋山城跡	漆垣内町、松の木町	30. 切手(城側)城跡	久々野町無数河
9. 松倉城跡	松倉町	31. 牛臥山城跡	久々野町無数河
10. 高山城跡	城山、神明町ほか	32. 柳島城跡	久々野町柳島
11. 石光山砦跡	片野町	33. 甲城跡	朝日町甲
12. のぞき城跡	山口町	34. 青屋和田城跡	朝日町青屋
13. 岩井(和田)城跡	岩井町	35. 中島(黒川)城跡	朝日町黒川
14. 尾崎城跡	丹生川町町方	36. 髭多山城跡	高根町上ヶ洞
15. 五味原城跡	丹生川町五味原	37. 平城跡	国府町山本
16. 森ヶ城跡	丹生川町大谷	38. 大洞砦跡	国府町鶴巣
17. 笠根城跡	丹生川町根方	39. 梨打城跡	国府町八日町、漆垣内
18. 板殿城跡	丹生川町板殿	40. 高堂城跡	国府町瓜巢
19. 和田原(比呂尾岡)城跡	丹生川町日面	41. 寺洞砦跡群	国府町名張
20. 入道洞城跡	丹生川町旗針	42. 広瀬(田中)城跡	国府町名張、瓜巢
21. イビキの城跡	丹生川町日面	43. 山崎城跡	国府町広瀬
22. 保木ヶ尾城跡	丹生川町大谷	44. 中山城跡	国府町広瀬
		45. 陣ヶ平砦跡	国府町広瀬
飛騨市の山城跡			
46. 境の峰城跡	国府町広瀬	68. 土(鬼ヶ)城跡	神岡町牧
47. 白米(養輪)城跡	国府町養輪	69. 寺林(玄菟)城跡	神岡町堀之内、寺林
48. 牛追砦跡	国府町養輪	70. 八幡山城跡	神岡町朝浦
49. 光寿庵城跡	国府町上広瀬	71. 高原諏訪城上部遺構	神岡町殿
50. 甲山城跡	国府町今	72. 高原諏訪城跡	神岡町殿、和佐保
51. 養輪黒洞城跡	国府町養輪	73. 洞(麻生野)城跡	神岡町麻生野
52. 尻高城跡	上宝町双六	74. 石神(杏、二越)城跡	神岡町石神
53. 由谷城跡	上宝町蔵柱	75. 政元(山田)城跡	神岡町西
54. 堂殿城跡	上宝町蔵柱	76. 政元奥城跡	神岡町西
55. 芋生茂城跡	上宝町芋生茂	77. 傘松城跡	神岡町吉田
下呂市の山城跡			
78. 下山田城跡	神岡町下山田	80. 中根(大ヶ洞)城跡	萩原町大ヶ洞
79. 岩ヶ平城跡	神岡町坂巻	81. 桜谷城跡	萩原町桜洞
		82. 為坪城跡	萩原町桜洞
		83. 楯尾山城跡	萩原町古関
		84. 下呂森城跡	小川
		85. 宮地城跡	宮地
		86. 舟野城跡	金山町戸部
		87. 保木山城跡	金山町下原町
白川村の山城跡			
88. 荻町城跡	荻町		

## (2) 飛騨の山城の分布と規模

### ① 数と規模

遺構の全部又は一部が確認できる山城跡は、88城あるとされています。面積の平均は約23,000m<sup>2</sup>でナゴヤドームの半分弱の広さです。また、麓からの高さの平均は、約145mです。

### ② 分布の特色

高原川、宮川、益田川などの本流や支流沿いの、平野部を見下ろす山筋に多く築かれていました。その中でも古川盆地には特に多く築られました。

### ③ 地域による規模の違い

南部地域は規模が小さく、北部地域に規模の大きな山城があります。

## (3) 飛騨の山城の特色



畝状空堀群が残る広瀬城跡

- ① 飛騨の山城の多くは、石垣を設けず、山肌を削り取ったり盛り土をしたりして敵の侵入を防いでいます。松倉城跡や高山城跡など石垣を設けたものもありますが、これらは金森氏が飛騨へ入国した後に改修されたり築城されたりした城と考えられています。
  - ② 多くの山城で、入口の守りを固めるための施設(虎口)の跡が確認できません。
  - ③ 敵兵が斜面を横に移動して攻め登ることができないように、斜面に幾筋も堅堀を並べた山城が飛騨にもあります。※高山市国府町の広瀬城跡では、現在でも見事に掘り込まれた畝状空堀群を見ることができます。
- ▶ これらの特徴は、織田信長や豊臣秀吉による天下統一が進む前の築城の形と言えます。

## (4) 飛騨の統一と山城の分布や規模

古川盆地に山城が多いことや大きめの山城が古川盆地や高山盆地に多いことは、戦国時代の飛騨統一の歴史と関係があります。

戦国時代の飛騨を統一したのは、南部の桜洞城(下呂市萩原町)を本拠地として北上した三木氏でした。統一のために最後に戦った相手が北部の高原諏訪城(飛騨市神岡町)を居城にした江馬氏でした。そのため、両者のにらみ合いの地となった古川盆地周辺には、多くの山城が築かれ、それぞれの勢力の中心となった城は規模が大きくなったと考えられます。また、その後、統一を果たした三木氏が金森氏の侵攻に備えてこの地域の山城を整備したことも関係していると考えられます。

## (5) 山城の発掘調査例：三枝城跡(高山市上切町)



三枝城跡:曲輪(中央)の周りを堀切と横堀が囲む



三枝城跡:飛礫(つぶて)と考えられる川原石の集積

当センターは、主郭東側の尾根上に築かれた曲輪を調査しました。この調査によって、二つの曲輪や堀切、横堀、土塁などを確認しました。また、それぞれの曲輪が階段状に築かれていたこと、帯曲輪を備えていたこと、横堀に沿って土塁が造られていたこと、曲輪の端に飛礫(投石用の石)が集め置かれていたことなどが新たに分かりました。また、曲輪全体の構造が尾根の北側に重点を置いて造り込まれていることも分かりました。